

平成 30 年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号	1293500110	事業開始年月日	2017.4.1
法人名	生活クラブ風の村		
事業所名	定期巡回ステーション八街		
事業所所在地	(289-1114)		
	八街市東吉田912-8		
電話番号	043-443-8159	FAX番号	043-442-0367
施設等の区分	連携型	サービス提供地域	八街市
自己評価作成日	2019/2/1		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	・赤ちゃんから高齢者まで支援しています。障害を持っている方も地域で暮らすことができるようなコミュニティづくりをめざします。
事業所の特徴	・緊急通報装置だけでなく、状況に応じてテレビ電話を貸出して利用者様とのコミュニケーションに役立っています。 ・スマケアシシステムを通じてヘルパー・ケアマネジャー・ご家族(利用者)様との情報共有に役立っています。 ・訪問介護との一体型で運営しています。

2. 介護・医療連携推進会議

介護・医療連携推進会議への公表日	2019/3/4
開催場所	特養ホーム八街会議室

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
			実施状況					
			できていない	ほぼできていない	がなで多いき	て全いく		コメント
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				①私たちはひとりひとりの個性と尊厳を尊重し基本を大切にしたい質の高い支援を目指します。 ②私たちは地域のみなさんと共に誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことができるようなコミュニティづくりに貢献します。 ③私たちは情報公開説明責任を大切にするとともに希望と働きがいを持つ職場を自ら参加してつくります。	一人一人の職員に対し、理念の浸透と実践を目指し掲げたり読み合わせるなど意識づけの機会が多い。事業独自の理念を掲げている。概ね良好。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				朝礼時、毎日読み合わせをおこなっている。	職員間のコミュニケーションを大事にしてください。概ね良い。十分理解しているように思える。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				オペレーター研修・計画作成者研修実施(法人内)	人としての優しさのもとでの確かな専門的知識技術の向上に励んでください。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				している。	職員一人一人異なる個性をもうっているのので一律に能力を求めのは難しいと思いますが努力してください。利用者の性格人柄に合わせた尊重ができる人材の開発教育に努めていると思う。

介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○			kintoneを使って情報共有 ケースカンファレンス開催	日頃から双方の情報が共有される雰囲気を作った方がよいと思います。認識の共有が十分に確保されていると思います。特性や状況に関し細やかに管理者や計画作成に報告している姿をよく見かける。
(3) 適切な組織体制の構築							
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○			利用者の特性は共有し柔軟なサービスが提供できるようにしている。	利用者の特性職員の個性を踏まえてサービスの提供に努めてください。人材配置がされている。特性だけでなく効果的なサービス提供をかんがえてくれている。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映さ	○			年に2回会議を開催し、事例検討などで助言をいただきサービスに反映している。	これからも進めてください。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備							
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○			スマケアシステムを活用している。	スムーズなコミュニケーションができる環境整備に努めてください。提供内容を叙述しているのみの記録をみかけるので利用者の状況反応をもっと記録してもらいたい。
(5) 安全管理の徹底							
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○			夜間訪問時の防犯対策として利用者宅の周辺情報はかかさずとっておき職員には携帯懐中電灯を常備しているように伝えている。	24時間の職業であり防犯事故等に常に注意してほしい。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○			スマホは個人情報なのでパスワードを設定し本人でないとうみられないようにしている。	今までどおり注意してください。
II 過程評価 (Process)							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○			介護羅針盤を使いアセスメントをおこなっている。	利用者の生活のリズムを把握することは難しいと思いますが利用者の気持ちになって作成してください。アセスメントをケアマネにも率先してフィードバックしてもらえるとありがたい。さらに良いケアの提案となると思う。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○			看護のアセスメントもあり	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○			自立支援を目指した計画作成をしている。	自立支援を目指すこと共に安心して暮らせるようにも計画してもよいのではないかと
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の方々の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○			毎回の訪問時、変化に気づきリスク管理を行い入院しないケアを目指している。	大変ですが注意深く見守ってください。重度化により医療依存度を高くもつ利用者や家族もいる。最期はどこでどのように迎いたいのかの意向を確認ししっかり他職種間において共有することが大事と
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し							

計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				早朝夜間など時間を問わず柔軟な対応をしている。	厳しい職場環境ですが注意して対応してください。いつも心強く有難く感じています。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				事例参照	これからも利用者の変化を早期に把握し適正な対応をお願いします。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				看護と一緒にいることもあり。補助業務	これからも情報を共有し協力して対応してください。一体化によるサービスで実際に元気になった利用者がいます。効果的なサービスだと思います。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				常に指導助言がある。(薬の副作用や飲ませ方など)	的確な指導助言は大切です。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				定期巡回契約時に説明を行っている。	心身の機能の適度も異なり大変ですが利用者の立場に寄り添って進めてください。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書は説明をしてから署名捺印をいただいている。	心身の機能の適度も異なり大変ですが利用者の立場に寄り添って進めてください。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				相談をうけるとケアマネに申し送るようにしている。	ケアマネとの情報の共有は大変ですね。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				共有している。	これからも務めてください。担当者会議に参加してもらうことで打ち合わせができています。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている				○	インフォーマルサービスは活用していない。	個人情報のかねあいが難しいかな。インフォーマル支援が難しい状況の利用者に定期巡回は使われていると思う。インフォーマル支援が期待できれば日割り請求へ変化してよいと思う。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				目標の達成については、モニタリングにてケアマネに提案し担当者会議にて計画に反映できるようにしている。	情報を発信し利用者の安心安全が図られるようにしてください。目標の達成度を他職種で確認しあう機会を大切にできればと思う。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						ケアマネジャーの情報の収集と的確な対応が大切です。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている				○	議事録を次回に手渡ししている。	具体的な事例で利用者と介護看護の状況を理解できた。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている				○	広報は独自でおこなっているが積極的ではない。	個人情報もからみ難しいことですね。
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している				○	理解している。	これからも務めて理解してください。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている				○	地域展開のみ。	今後高齢者が増加するなかでは地域にねざしたものにしたい方がよいかなと思う。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)						
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている				○	モニタリングにて達成度を図っている。	焦らずに目標の達成を図ってください。看護からではなく介護側のモニタリングを常にケアマネにフィードバックしても
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている				○	毎日訪問することで安心感を感じていらっしゃる。	高齢者が不安にいたらないように見守ってください。「見張られている」という感覚を持つ利用者もいる。本人が必要と認識できない人もいる。しかし訪問することで明らかに表情もよくなり安心やリズム作り活気にはつながっているの